４３28

・の

がい

**ののについて【４４】**

　においては、３９のもなをするとともに、でがしたのをあらかじめめることで、こうしたににができるようをし、そのを３10におらせしたところです。

　は、３９にいったんにりましたが、12にはにじ、４１にが（）にしたことをけて、１25からのをしました。

　、３10にがってきたをまえて、をいたしましたのでおらせします。

　・のには、をおかけしますが、これらのやは、をし、、がしてもでのをにめるためにうものですので、きき、・をいただきますようおいしげます。

　※　をとしたまんが４２21から３まで（21まで）されることとなり、のをまえたがされることとなりました。においては、として、はきく、のさらなるがされることから、もしたをするがあること、のくががいとのから、のをすることといたしました（５に）。

　　　は３21でしましたが、にづくからのにけ、をめて、することといたしました。

**１　がされたのについて**

　がされたにおいては、のとおり、・などのをいます。

　なお、がされたとは、はまんがされたのほか、によるがあった場合、が（）となった、にしてにづきののがあったをいいます。

**１　な**

　**(1)の**

　　ア　・・のができないをき、にをしてください。

　　イ　をしていないときは、をえてください。

　　ウ　は、原則、をしてください。

　**(2)けんによるい・による**

　　ア　のにるとき、でをするときには、けんによるいはをしてください。

　　イ　をしたも、けんによるいをしてください。

　**(3)な**

　　ア　のなをおいします（は24してください）。

**２**

**(1)**

　　、のをおいします。「の」でをします。

**(2)やによるがある**

　　ア　ね37のやがあるは、とします。

　　イ　ね37.5のやいがあるは、とし、をけていただきます（がでないは、をいただきます）。

　　　　の、（）、24はでいただきます。

　　ウ　イの、となるがあるについても、がるまでの、でをしていただきます（がでない、をいただくがあります）。

**３**

　(1)もをしてください。

　(2)のはしてください。

　　については、

　　　ア　、の、のためのののみとしてください。によりのとなるをき、はえていただくようおいします。

　　　イ　は、としてください（、いは１）。

　　　ウ　のは、はとしてください。

　　また、のは、「９まで」を「８まで」にさせていただきます。

　(3)のにするがあるため、ず（）をしてください。

　(4)、ににがあれば、すぐににらせてください。

**４**

　(1)はのいずれかが、のは、はさせていただきます。

　(2)のはください。はにさせていただきます。

　(3)が、にられるには、、１でのびのをおいします。

　(4)(3)の、ず２（）におしいただき、への、めてのによる、をおいします。

　(5)は、によりおいします。やのにがにごくすることはしえありません（へのをおいします）。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | が | が |
| をさない（ね15） | １ | （） |
| をする（ね15） |

**５**

　(1)も、「１　な」、「３　」にずるをいします。

　(2)に、があるは、はりやめてください。

　(3)も、をい、おしする「」にしてください。

　(4)に、となったは、するまででしてください。また、があったは、かかりつけは「」にいただき、がて、するまで、でをおいします（からがあるはそのにってください）。

　(5)からるは、ず、の９から５までのに、にいただき、のについておらせください。なお、のやにのあったに、やがあったは、にやがなかったとしても、ずにをおいします（にしたもむ）。

　(6)にも、によりのをさせていただきます。

**６**

　(1)（「」という）については、の、の、のなにし、はの、します。

　(2)のは、の、とさせていただきます。

　(3)においてしたのをするためにを５～10させていただくがあります。

　(4)をするやの・は、とします。ただし、やのために、をすることができないは、については、なを、するです。

**２　のについて**

　のは、３３のをとしたものとします。

**１　な**

　**(1)の**

　　ア　・・のができないをき、にをしてください。

　　イ　をしていないときは、をえてください。

　　ウ　は、、をしてください。

　**(2)けんによるい・による**

　　ア　のにるとき、でをするときには、けんによるいはをしてください。

　　イ　をしたも、けんによるいをしてください。

　**(3)な**

　　ア　のなをおいします（は24してください）。

**２**

**(1)**

　　、のをおいします。「の」でをします。

**(2)やによるがある**

　　ア　ね37のやがあるは、とします。

　　イ　ね37.5のやいがあるは、とし、をけていただきます（がでないは、をいただきます）。

　　　　の、（）、24はでいただきます。

　　ウ　イの、となるがあるについても、がるまでの、でをしていただきます（がでない、をいただくがあります）。

**３**

　(1)もをしてください。

　(2)したやはけ、のいにはかないようにしてください。

　(3)のにするがあるため、ず（）をしてください。

　(4)をするも、のマスクやをおいします。

　(5)、ににがあれば、すぐににらせてください。

**４**

　(1)はのいずれかが、のは、はさせていただきます。

　(2)が、にられるには、、１でのびのをおいします。

　(3)(2)の、ず２（）におしいただき、への、めてのによる、をおいします。

　(4)は、によりおいします。やのにがにすることはしえありません（へのをおいします）。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | が | が |
| をしない（ね15） | ２・コーナー | １ |
| をする（ね15） | １ |

**５**

　(1)も、「１　な」、「３　」にずるをいします。

　(2)に、があるは、はりやめてください。

　(3)も、をい、おしする「」にしてください。

　(4)に、となったは、するまででしてください。また、があったは、かかりつけは「」にいただき、がて、するまで、でをおいします（からがあるはそのにってください）。

　(5)からるは、ず、の９から５までのに、にいただき、のについておらせください。なお、のやにのあったに、やがあったは、にやがなかったとしても、ずにをおいします（にしたもむ）。

　(6)にも、によりのをさせていただきます。

**６**

　(1)（「」という）については、の、の、のなにし、はの、します。

　(2)のは、の、とさせていただきます。

　(3)においてしたのをするためにを５～10させていただくがあります。

**３　のがしたのについて**

　　・のがした、そのについては、のにうこととしていますが、があるまでをするがあることをし、こののをめることとしました。

　　これらのについては、のやにじて、がありうるものですので、あらかじめおきください。

　**１　のがした**

　　(1)　にがでもしたは、（）のがあるため、がたのからえて、はすべてののからのをさせていただきます。

　　　　ア　となった、そのそののとしてはがしたは、をさせていただきます。

　　　　イ　そののも、の、、、のためののはください。

　　　　　※　のからはおえください。のをじるは、なくにおらせください。

　　(2)　は、びはさせていただきます。

　　　　ア　は、になのみとさせていただきます。

　　　　イ　のけしは、がわって１のでいます。このため、にをおいします。、のもください。

　　　　ウ　は、がなくのがないとされるは、っていただけます。にとなったは、するまで、でをおいします。があったは、かかりつけは「」にいただき、がて、するまで、でをおいします（からがあるはそのにってください）。

　　(3)　は、のをい、のは、させていただきます（ウ、エ）。

　　　　ア　は、とし、もがいます。

　　　　イ　されている、おもがまでおけします。

　　　　ウ　のは、、、のにいます。ただし、ので、できないがあります。

　　　　エ　なで、によるをします。

　　　　オ　びは、します。

　　(4)　がないにも、をおいするがあります。

　　(5)　やがとなった、やむをず、・ごとの、（をせず）のをとるがあります。

　　(6)　ものはをするがあります。

　**２　のがした**

　　についても、の、なをしつつ、、のののみをします。のがしたも、「１　のがした」にずるをうです。

　　また、のがしたは、までの、となるによりをさせていただくこととなります。

　　へのは、にでもじうるものであることをいただき、がしたにも、あるをとっていただきますようおいします。

**４　のについて**

１　をされるは、どのでをうかをめ、「のにるについて」をにいただく。

２　のができたら、におらせいただく。

３　にでをけていただく。までのについては、、のみなさまにおいします。

　　・でおりのときはにください。

**５　４２21からのまんにうのについて**

　１のにをしています。

**における**

ア　はいただくこと（ののもみます）

　・のけしは、をじてうこと（このため、にをおいします。また、、のもください）

　・きき、のはおえください。をとしたもおえください。

イ　での・をえていただくこと

**１　な**

　**(1)の**

　　ア　・・のができないをき、にをしてください。

　　イ　をしていないときは、をえてください。

　　ウ　は、、をしてください。

　**(2)けんによるい・による**

　　ア　のにるとき、でをするときには、けんによるいはをしてください。

　　イ　をしたも、けんによるいをしてください。

　**(3)な**

　　ア　のなをおいします（は24してください）。

**２**

**(1)**

　　、のをおいします。「の」でをします。

**(2)やによるがある**

　　ア　ね37のやがあるは、とします。

　　イ　ね37.5のやいがあるは、とし、をけていただきます（がでないは、をいただきます）。

　　　　の、（）、24はでいただきます。

　　ウ　イの、となるがあるについても、がるまでの、でをしていただきます（がでない、をいただくがあります）。

**３**

　(1)もをしてください。

　(2)のはしてください。

　　については、

　　　ア　、の、のためのののみとしてください。によりのとなるをき、はえていただくようおいします。

　　　　　をとしたもおえください。

　　　イ　は、としてください（、いは１）。

　　　ウ　のは、はとしてください。

　　　　　また、のは、「９まで」を「８まで」にさせていただきます。

　(3)のにするがあるため、ず（）をしてください。

　(4)、ににがあれば、すぐににらせてください。

**４**

　(1)は、、させていただきます。

　(2)のけしは、がわって１のでいます。このため、にをおいします。、のもください。

　※　のことでおりのことがありましたら、なくまでいただきますようおいします

**５**

　(1)も、「１　な」、「３　」にずるをいします。

　(2)に、があるは、はりやめてください。

　(3)も、をい、おしする「」にしてください。

　(4)に、となったは、するまででしてください。また、があったは、かかりつけは「」にいただき、がて、するまで、でをおいします（からがあるはそのにってください）。

　(5)からるは、ず、の９から５までのに、にいただき、のについておらせください。なお、のやにのあったに、やがあったは、にやがなかったとしても、ずにをおいします（にしたもむ）。

　(6)にも、によりのをさせていただきます。

**６**

　(1)（「」という）については、の、の、のなにし、はの、します。

　(2)のは、の、とさせていただきます。

　(3)においてしたのをするためにを５～10させていただくがあります。

　(4)をするやの・は、とします。ただし、やのために、をすることができないは、については、なを、するです。

　(5)での・はえていただくようおいします。